

♥ 「いい夫婦の日」アンケート結果 2010

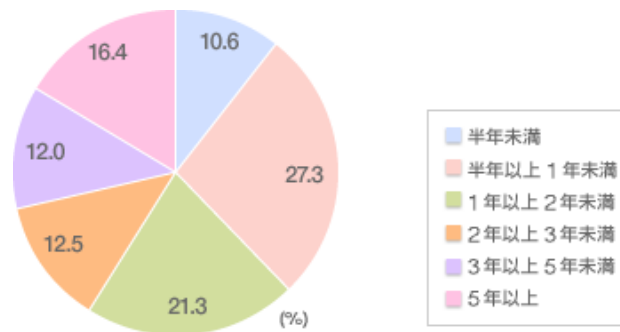
「いい夫婦の日」をすすめる会では、夫婦の今を知り、素敵な夫婦の明日を築く道標となることを願って、既婚者を対象にしたアンケートを2007年から実施しています。
今の夫婦の「気持ち」「暮らし」「コミュニケーション」「将来」などをまとめています。
ぜひ、ご覧ください。

※対象者：調査会社モニターより抽出した、18歳以上の既婚者（男女）(n=800)

- Q1. あなた方ご夫婦は、ご結婚前にどのくらいの間お付き合いされてきましたか。
Q2. あなたは、生まれ変わったとしたら、今のパートナーを選びますか。
Q3. あなたが今のパートナーを選んだ理由を全て教えてください。
Q4. あなた方ご夫婦は今円満だと思いますか。
Q5. あなたが夫婦円満のために、大切だと思うことは何ですか。最も優先順位の高いものを3つ教えてください。
Q6. あなたがパートナーに直して欲しい・やめて欲しいことは何ですか。
Q7. あなたが最も愛情を感じる言葉を、思いっただけ教えてください。
Q8. 一日のあなた方ご夫婦での会話時間はどれくらいですか。
Q9. あなた方ご夫婦ふたりだけですることがある項目を、それぞれ「過去・現在・未来」で、あてはまるものを全て教えてください。
Q10. あなたは11月22日が「いい夫婦の日」であることを知っていますか。
Q11. いい夫婦の日(11月22日)に記念日として何かするとしたら、何をしたいですか。
Q12. あなたがパートナーから記念日に欲しいプレゼントは何ですか。あてはまるものを全て教えてください。

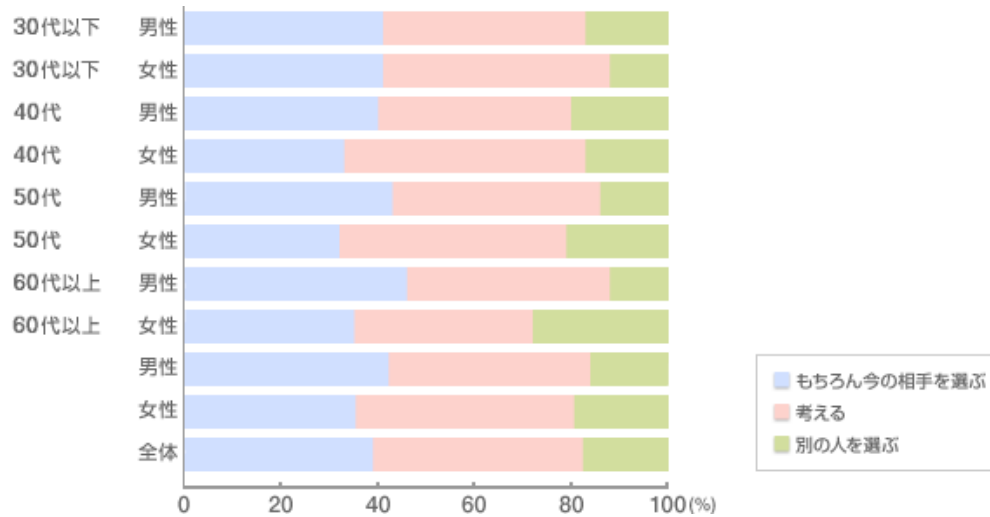
Q1. あなた方ご夫婦は、ご結婚前にどのくらいの間お付き合いされてきましたか。

結婚前の交際期間を質問したところ、「半年以上1年未満」が27.3%でトップ、次いで「1年以上2年未満」が21.3%となりました。「半年未満」10.6%を含めると、「交際期間1年未満」に結婚する人が37.9%で全体の4割近くに迫っています。一方「5年以上」が16.4%で、慎重派な人も昨年(11.0%)より増加傾向にあります。



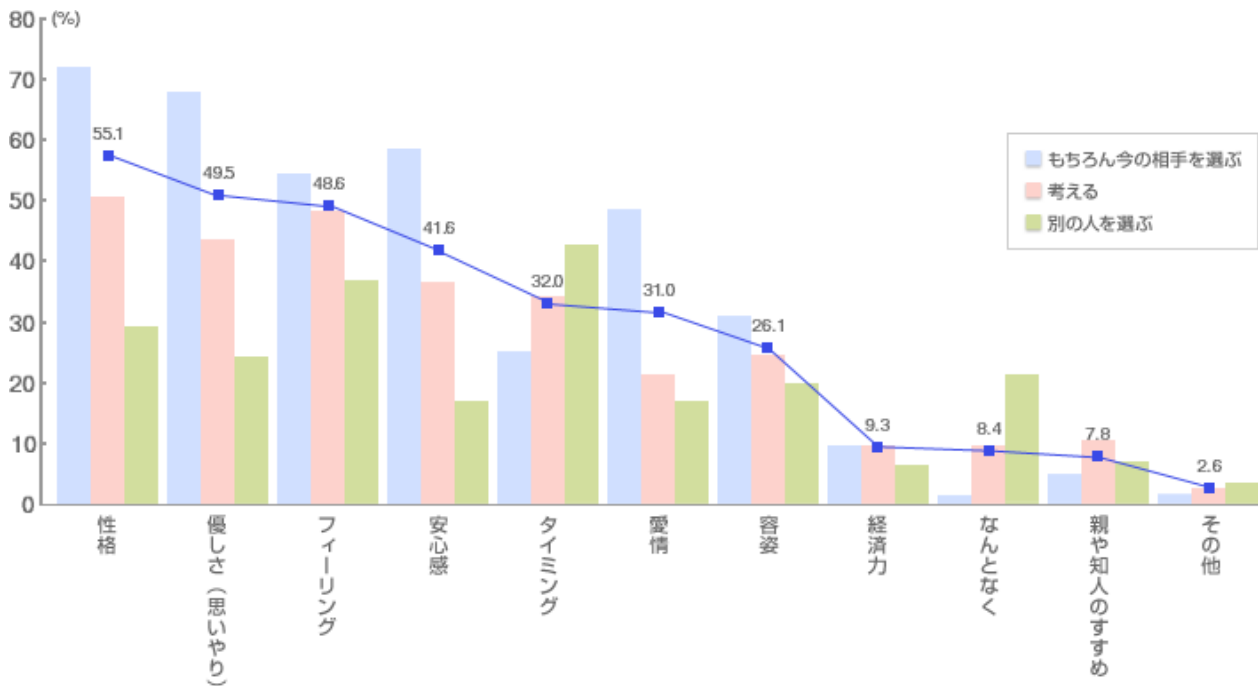
Q2. あなたは、生まれ変わったとしたら、今のパートナーを選びますか。

全体では、「もちろん今の相手を選ぶ」が39%、「考える」が44%、「別の person を選ぶ」が18%と、昨年とほぼ同様の結果となりました。性別でみると、「もちろん今の相手を選ぶ」では男性43%に対し女性が35%で、男性の方が8ポイント高くなっています。一方、「考える」では女性が45%で男性より高く、「別の person を選ぶ」でも女性が20%で男性より高いという結果となりました。性×年代別でみると、「考える」では女性40代が50%で最も高く、「別の person を選ぶ」では、女性60代以上が28%で最も高くなっています。



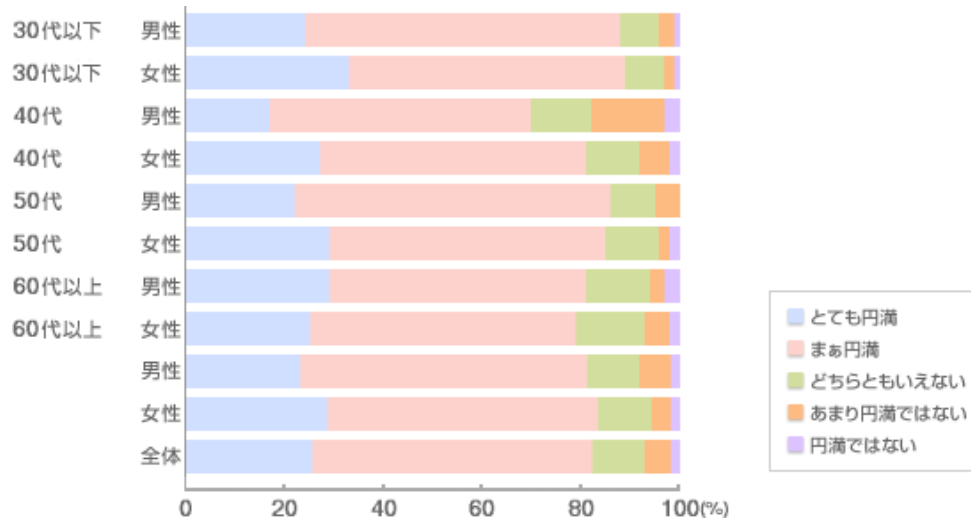
Q3. あなたが今のパートナーを選んだ理由を全て教えてください。

全体では、「性格」が55%で最も高く、次いで、「優しさ(思いやり)」(50%)、「フィーリング」(49%)、「安心感」(42%)が4割以上で続きます。上位4項目で、先の2において【もちろん今の相手を選ぶ】層が最も高く回答し、また、「愛情」では他層を20ポイント以上上回っています。反面、上位4項目では【考える】層、【別の person を選ぶ】層という順番でスコアダウンの傾向にあります。「タイミング」では、【別の person を選ぶ】層が43%で最も高く、【考える】層が34%で続いており、「なんとなく」においても、【別の person を選ぶ】層が21%で最も高いという結果となっています。この結果から、【もちろん今の相手を選ぶ】層は、「性格」や「優しさ(思いやり)」他、相手の色々な魅力に惹かれパートナーとして選んだことが推測され、一方、【別の person を選ぶ】層では、「タイミング」や「なんとなく」といった相手の魅力というよりは他の要因でパートナーを選んだことが窺えます。



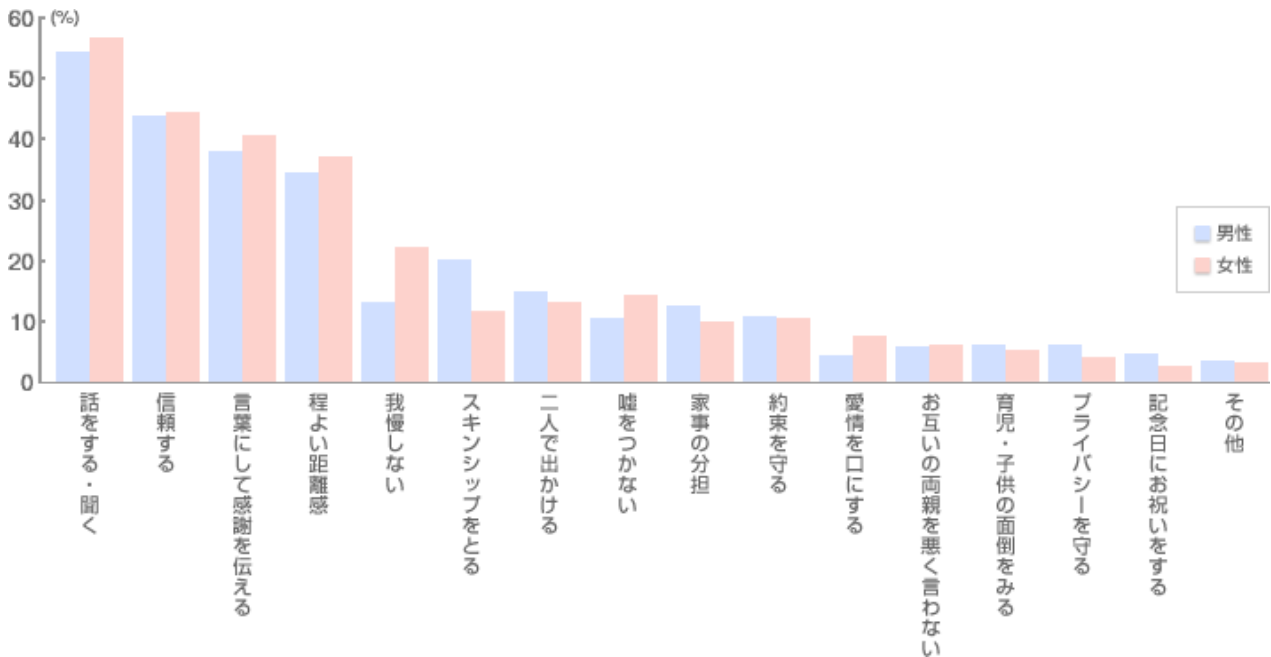
Q4. あなた方ご夫婦は今円満だと思いますか。

全体での『夫婦円満度合い』は、「とても円満」が26%、「まあ円満」(57%)まで含めた「円満」が82%となり、昨年(約85%)より若干減少傾向にあります。しかしながら、「円満ではない」の合計も7%に留まっています。性×年代別で見ると、「とても円満」は女性30代以下が33%で最も高くなっています。「円満(とても円満・まあ円満)」は、男性40代が70%で他層より低く、女性40代(81%)とは11ポイントの差となっており、同年代の男女間では最も差が大きい結果となっています。「円満ではない(あまり円満ではない・円満ではない)」でも、40代男性が18.0%で多層よりダントツに高い結果となっています。



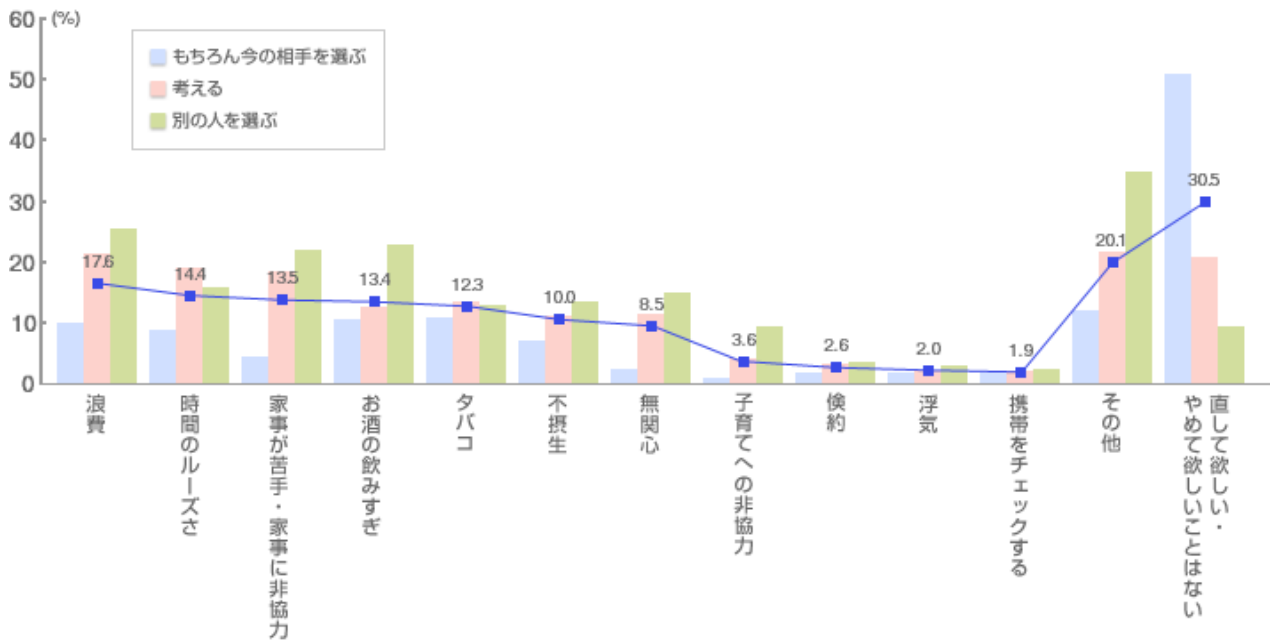
Q5. あなたが夫婦円満のために、大切だと思うことは何ですか。最も優先順位の高いものを3つ教えてください。

全体での『夫婦円満のために大切だと思うこと』は、「話をする・聞く」が56%で最も高く、「信頼する」(44%)、「言葉にして感謝を伝える」(39%)、「程よい距離感」(36%)が3割以上で続いています。
 性×年代別でみると、「話をする・聞く」では男女ともに30代以下・女性50代が64%で、他層より高い結果となっています。「信頼する」では、男性60代以上が55%で女性60代以上の50%より高めとなっています。「程よい距離感」では、男性60代以上(48%)・女性60代以上(49%)が5割程度と他層より高く、お互いを信頼しあった上での程よい距離感がわかっていることが窺えます。



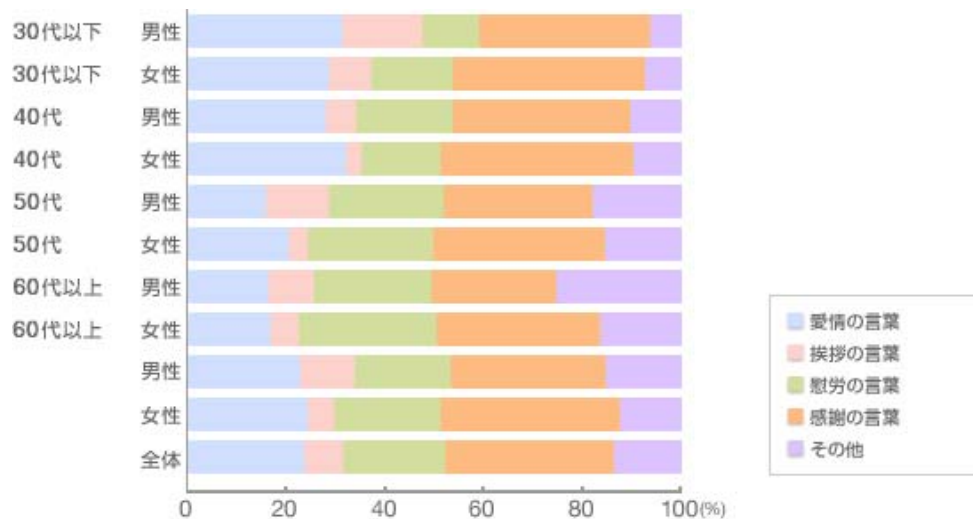
Q6. あなたがパートナーに直して欲しい・やめて欲しいことは何ですか。

全体では、「直して欲しい・やめて欲しいことはない」が31%で最も高い結果となりました。
 具体的な直して欲しい・やめて欲しいことは、「浪費」(18%)、「時間のルーズさ」・「家事が苦手・家事に非協力」(14%)、「お酒の飲みすぎ」(13%)が上位となりました。
 先のQ2の回答別でみると、【もちろん今の相手を選ぶ】層では「直して欲しい・やめて欲しいことはない」が過半数ですが、【別の人を選ぶ】層では「浪費」・「時間のルーズさ」・「家事が苦手・家事に非協力」・「お酒の飲みすぎ」などのスコアが他層より高く、その他の直して欲しい・やめて欲しいことが3割以上存在しています。
 加えて、【もちろん今の相手を選ぶ】層では、5割以上が今のままでよいと感じていますが、【別の人を選ぶ】層では色々な不満が存在していることが窺えます。



Q7. あなたが最も愛情を感じる言葉を、思いつくだけ教えてください。

全体では、「感謝の言葉」が34.2%で最も高く、次いで「愛情の言葉」(23.4%)、「慰労の言葉」(20.8%)という結果となりました。年代別でみると、年代が上がるにつれ「慰労の言葉」の割合が増えていき、「愛情の言葉」の割合が減る傾向が窺えます。また、40代と50代を境に「愛情の言葉」よりも「慰労の言葉」に対してお互いに愛情を感じる傾向が窺えます。



【内訳】

愛情の言葉 (一部抜粋) : n		挨拶の言葉 (一部抜粋) : n	
愛している	: 103	おかえり	: 28
好き	: 59	ごめんなさい	: 21
ずっと一緒にいよう	: 22	おはよう	: 17
大好き	: 22	いってらっしゃい	: 14

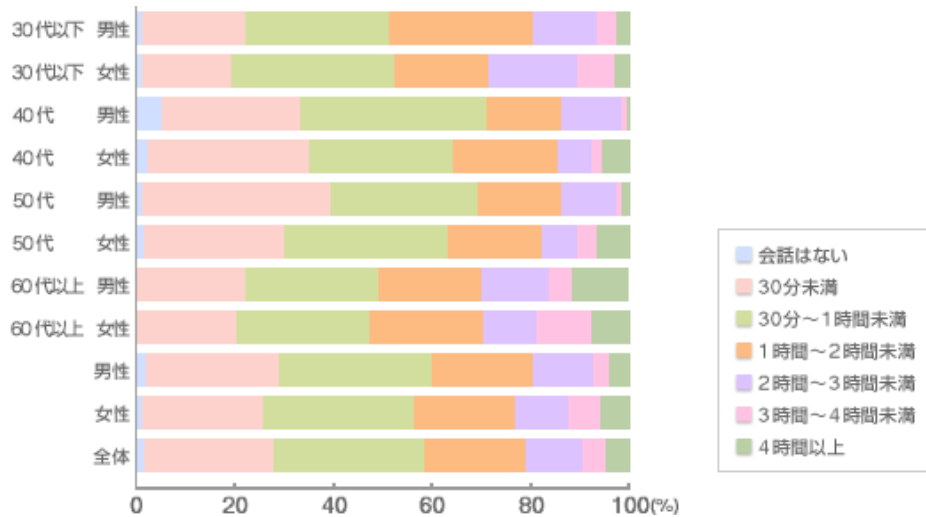
慰労の言葉 (一部抜粋) : n		感謝の言葉 (一部抜粋) : n	
大丈夫	: 66	ありがとう	: 426
お疲れ様	: 43	おいしい	: 43
気をつけて	: 29	感謝している	: 27
無理しないで	: 26	うれしい	: 11

Q8. 一日のあなた方ご夫婦での会話時間はどれくらいですか。

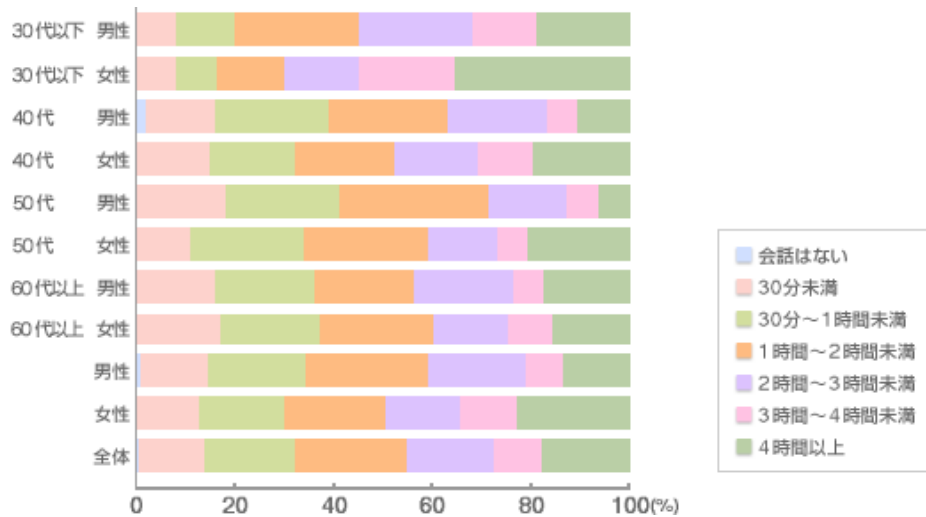
全体でみた『平日の会話時間』は、「30分～1時間未満」が31%で最も高く、次いで「30分未満」(26%)、「1時間～2時間未満」(21%)という結果となりました。年代別では、40代を見ると、男性は「会話はない」において5%でトップであり、女性も「30分以内」が33.0%でトップと、40代層のコミュニケーションの薄さが若干伺われます。

全体でみた『休日の会話時間』は、「1時間～2時間未満」が23%で最も高く、次いで「4時間以上」(19%)、「30分～1時間未満」・「2時間～3時間未満」(18%)となっています。
 全体に平日と休日とでは、1～2割程度時間が増えるが、年代別では、30代以下が休日の会話時間が圧倒的に増える結果となりました。

【平日】



【休日】



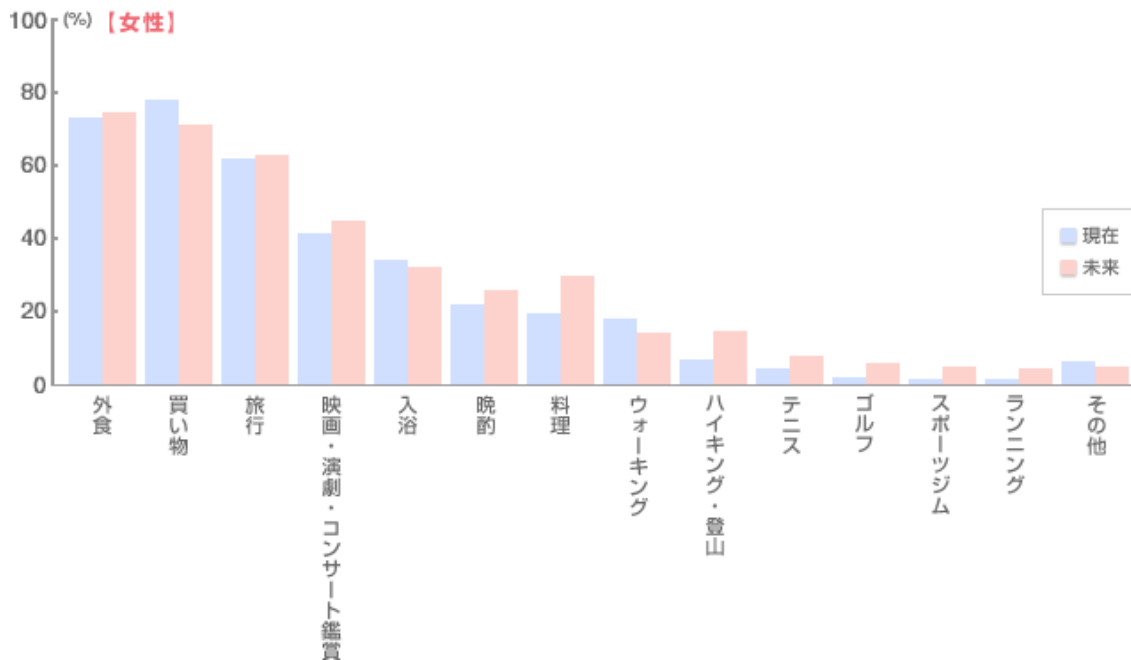
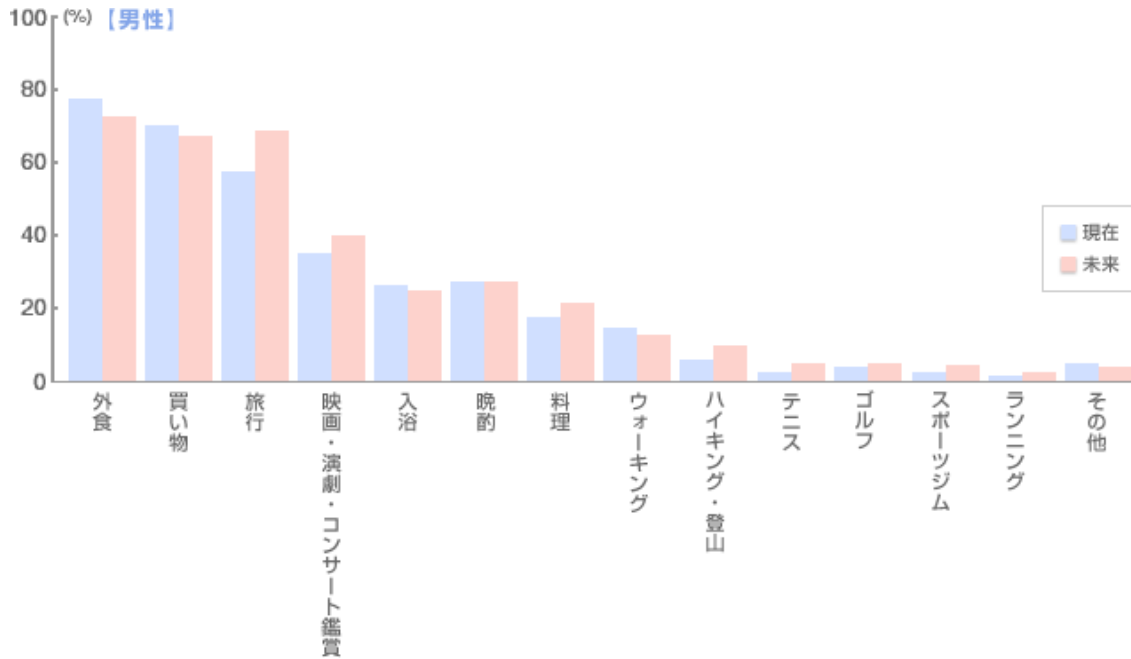
Q9. あなた方ご夫婦ふたりだけですることがある項目を、それぞれ「過去・現在・未来」で、あてはまるもの全てを教えてください。

【男性】

現在、夫婦ですることは、「外食」(77%)「買い物」(69.5%)、「旅行」(56.8%)、「映画・演劇・コンサート鑑賞」(34.8%)という結果となりました。未来に夫婦ですることは、「外食」(72%)「旅行」(69.5%)「買い物」(66.8%)が約7割、次いで、「映画・演劇・コンサート鑑賞」(39.5%)と続きます。未来には「もっと外で楽しむことも含め、二人でもっと活動的に楽しむことを望んでいるのが分かります。

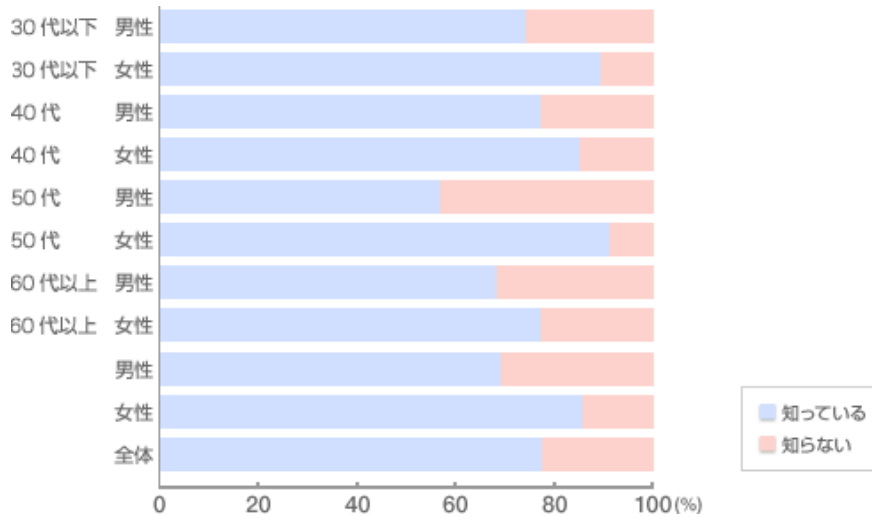
【女性】

現在、夫婦ですることは「買い物」(78%)、「外食」(72.3%)、「旅行」(62%)で6割～8割近くを占め、次いで「映画・演劇・コンサート鑑賞」(41.3%)という結果となりました。未来は、「外食」(74.5%)「買い物」(71%)「旅行」(63%)で1位2位が逆転しており、次いで、「映画・演劇・コンサート鑑賞」(45%)と続いています。また「料理」(29.8%)も現在よりも10%以上も増加しており、未来的には外でも楽しみつつ、家庭内でもっと家事なども分担していきたい気持ちが窺えます。



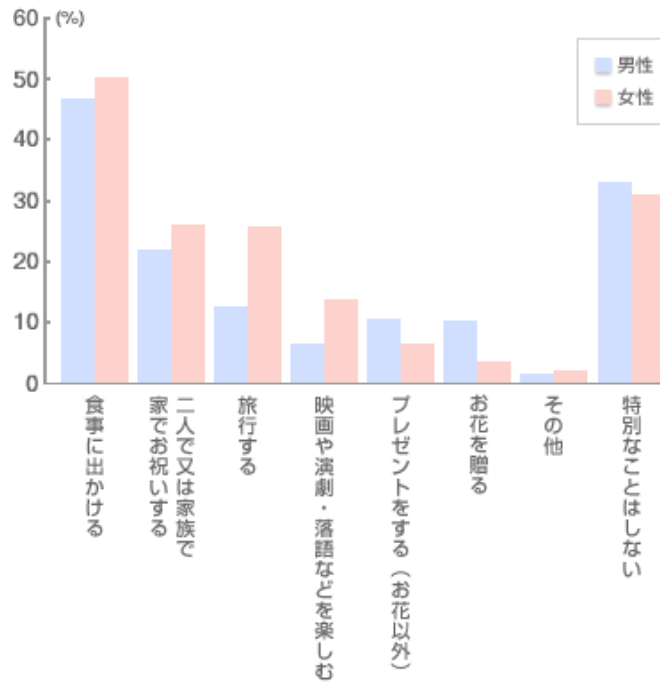
Q10. あなたは 11月22日が「いい夫婦の日」であることを知っていますか。

全体での『いい夫婦の日』の認知率は、77.3%で昨年度とほぼ同じでした。男女別では、女性層の85.5%に対して、男性層では69.0% (-16.5%)でした。やはり、記念日に敏感な女性層の方がどの年代でも認知が高いが、その中で50代の男女層で最も差が大きくなりました。男性層では最も認知の低い50代が57.0%に対して、50代女性層は91.0%と最も認知が高くなりました。生活意識や情報収集の違いなどが明確になった結果といえます。



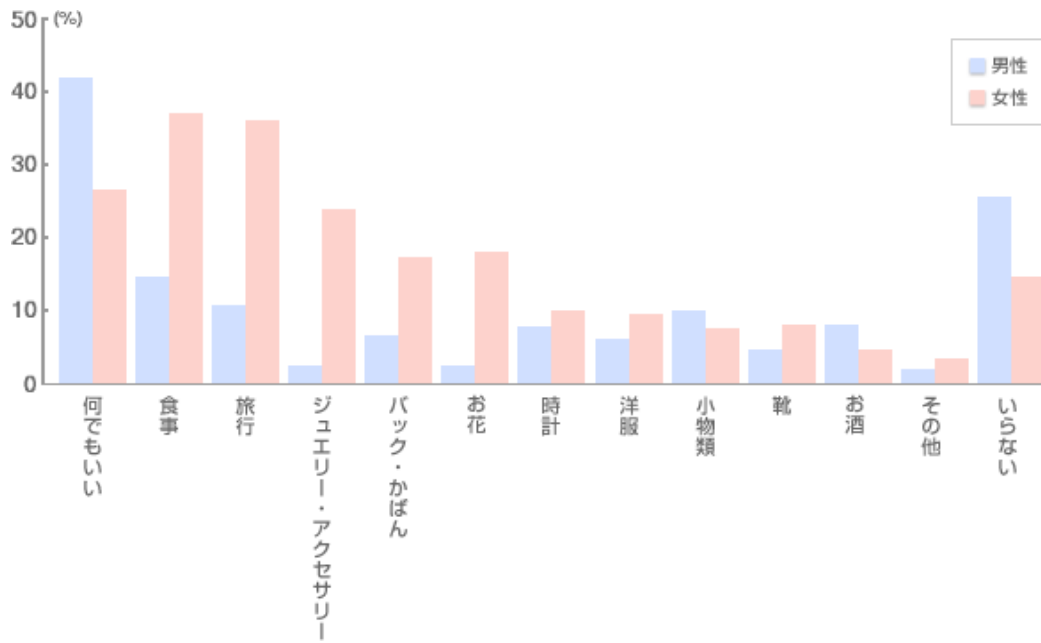
Q11. いい夫婦の日 (11月22日) に記念日として何かするとしたら、何をしたいですか。

全体でみた『いい夫婦の日に記念日として何をしたいか』をみると、「食事に出かける」が49%で最も高い結果となりました。次いで、「二人で又は家族で家でお祝いをする」(24%)、「旅行する」(19%)、「映画や演劇・落語などを楽しむ」(10%)が1割以上で続きます。性×年代別でみると、女性30代以下の「二人で又は家族で家でお祝いをする」が34%で他層より高く、女性50代以上では「旅行する」が3割以上で他層より高めとなっています。



Q12. あなたがパートナーから記念日に欲しいプレゼントは何ですか。あてはまるものを全て教えてください。

「何でもいい」が3割以上で一番多く、次いで「食事」(26%)、「旅行」(23%)、「ジュエリー・アクセサリ」(13%)、「バック・かばん」(12%)、「お花」(10%)という結果となりました。性別でみると、「何でもいい」では男性42%に対し女性が27%で、男性の方が15ポイント高く、男性の方がパートナーからのプレゼントにこだわりを持っていないことが分かりました。一方、女性は、「食事」(37%)・「旅行」(36%)・「ジュエリー・アクセサリ」(24%)を希望しており、性×年代別でみると、30代以下の若年層では「ジュエリー・アクセサリ」に期待が高い傾向が窺えます。また、女性のいずれの年代でも「食事」・「旅行」が男性より高い結果となり、妻は夫婦のイベントを望み、夫は具体的に何をプレゼントして欲しいか分からないのかもしれない。



※アンケート結果の使用に関しては、事前に事務局へ承諾を得てください。
 ※アンケート結果を使用する場合は、必ず出典名として“「いい夫婦の日」をすすめる会事務局”を入れてください。